

第36回

そらまめ

～ケアセンター習志野通信～



介護老人保健施設

ケアセンター習志野

〒275-0025 千葉県習志野市秋津3-5-2

TEL.047-453-5111 / FAX.047-453-5181

- ❁ 短期入所療養介護
- ❁ 通所リハビリテーション
- ❁ 居宅介護支援事業所
- ❁ 訪問リハビリテーション事業
- ❁ 新習志野訪問看護ステーション事業所

併設

ケアセンター習志野 開設20周年

令和2年4月に開設20周年を迎える事になりました。



ケアセンター習志野は、この令和2年4月に開設20周年を迎える事になりました。これもひとえに、ご利用者様やご家族様をはじめ、地域の皆様のご協力・ご支援のおかげでございます。上尾中央医科グループ5番目の介護老人保健施設として習志野市総合福祉ゾーンに開設されました。以後、社会情勢の変化、介護保険報酬の改定などさまざまな事がありました。

今後は2025年問題に向け、習志野市唯一の介護老人保健施設として「地域包括ケアシステム」の機能と役割を担い、地域の皆様に『愛し愛される施設』であり続けるよう努力する所存でございます。一層のご支援の程宜しくお願い申し上げます。

施設長
阪本 泰夫

21年目、千葉県最大規模の施設としてサービスの向上を心がけていきます。

事務長
高山 和夫

地域の皆様に支えられ、4月に20周年を迎える事が出来ました。ケアセンター習志野は、平成12年4月に入所100名、通所リハビリテーション50名で開設。平成15年に入所200名。平成18年に通所リハビリテーション100名の定員増を行い、現在の体制となりました。開設以来、ご利用者様の尊厳を守り、安全に配慮しながら生活機能の維持・向上を目指し総合的な援助に努め、家庭や地域の人々・各機関とも協力し安心して自立した在宅生活が続けられるようお手伝いをしてきました。

21年目、新たな第一歩として、更なる高齢社会にむけ習志野市の地域包括ケアシステムの中心的な位置づけ・千葉県No1“200床”の大規模介護老人保健施設としてサービスの向上を心がけ地域貢献していきます。



今後も地域に貢献できる施設として、職員一同努力してまいります。

介護看護部長
森 智美

2000年4月に開設し、早20周年を迎えることができました。これも地域の皆様のご支援ご協力のおかげと感謝しております。

地域に根ざした施設として「ご利用者様の人としての尊厳を支え、権利を守り、より快適な自立生活を支援する」を施設方針とし、介護看護部は「良質で安全安心・信頼の医療介護を提供し地域に貢献する」を理念に業務を展開しております。

ご利用者様が安心して過ごしていただけるように、他職種と連携しチームでケアの向上に努めていきます。

今後も地域に貢献できる施設として、職員一同努力してまいりますので、今後ともよろしくお願い致します。

AED講習会



施設職員の知識・技術の習得を目的として、年に2~3回、習志野市消防本部警防課様に講師をお願いしAED講習会を実施しています。「AED」とは、心臓がけいれんし、血液を流すポンプ機能を失った状態(心室細動)になった心臓に対して、電気ショックを与え、正常なリズムに戻すための医療機器です。「AED」は病院や診療所、救急車のほか、空港や駅、学校などの公共施設、企業など、人が集まる場所を中心に設置されています。

令和元年11月26日に開催したAED講習会にも多数の職員が参加し、心肺蘇生練習人形を用いて「AED」の使い方と救急処置の流れを学びました。最後には筆記試験を行い、修了者に「普通救命講習Ⅱ修了証」が交付されました。

不測の事態に最善の対応ができる職員が増えるよう、今後も継続して講習会を行う予定です。



救急処置の流れ

- ① 傷病者を発見
- ② 意識の有無
- ③ 意識が無かったら119番通報とAED装置を準備してもらるように近くの人に依頼する
- ④ 呼吸が無かったら心肺蘇生(胸骨圧迫・人工呼吸)を行う
- ⑤ AED装置が準備できたら傷病者の頭の近くに置き、電源を入れてパッドを貼り、ショックボタンを押す
- ⑥ 救急隊員到着後、状況を説明して引き継ぐ



新人職員の 一年を振り返って

就職して一年経ちましたが、振り返ってみると業務内容は勿論のこと、利用者様への接し方など先輩方から学ぶことが多くあり、あっという間の一年でした。2年目では今まで持っていなかった新たな視点を持ち、利用者様に寄り添えるような介護福祉士を目指して頑張りたいと思います。 東3階 和井田 菜々子

